

Muse Letter

札幌市博物館活動センターは自然史博物館の計画推進のため、市民とともに普及交流活動、展示、調査研究、資料収集保存を行う活動拠点です。

2016.3 No.64 発行・札幌市博物館活動センター

<http://www.city.sapporo.jp/museum/> 公式ホームページからPDF版(カラー)をご覧ください。

札幌の夜景と地形の関係

2015年10月、札幌が日本新三大夜景都市(※)の第2位に選ばれました。そこで、札幌の夜景について、自然史の視点から、その美しさの要因を考えてみることにしました。

まず、夜景を見るには眺望が重要ですが、札幌には夜景のビューポイントとして有名な標高531mの藻岩山展望台(写真)をはじめ、幌見峠、円山、手稲山などの自然の要素、また、テレビ塔やJRタワー、札幌ドームなど街中の人工物の上からも、さまざまな方位と高さからの眺望を楽しむことができます。札幌の街は広大な石狩平野の中に形成され、札幌で一番低い場所は海拔1.6m(北区西茨戸の旧発寒川付近)、藻岩山のふもとでも標高約50mほどです。このように札幌市が広大な平野にあり、しかも、市街地の中心が扇状地という限られた地域に集中したことが周囲からの眺望を可能にしたのではないかと考えられます(図)。

夜景都市第1位の長崎や第3位の神戸、第4位の函館などの眺望ポイントとして、港町の周囲に迫る山と街の灯りを反射する漆黒の海とに切り取られた、きらめく夜景が魅力となっています。また、全国各地の多くの夜景スポットが山頂や山腹から展望する、いわば“見下ろす”夜景となっているのに対し、札幌の夜景は広大な石狩平野にひとときわ明るい市街地の灯りが輝き、その周囲に幾重にも重なりあった直線的な街路灯が、それより遠くの森や山の闇に吸い込まれるように消え

ていくことも魅力といえ、いわば周縁部も一体的に見る“見晴らし”の夜景です。この夜景を“まるで宇宙に浮かぶ銀河のよう…”とっては言い過ぎでしょうか。(古沢、山崎)

※日本新三大夜景都市:今回、札幌市が選ばれたのは夜景鑑賞士約4500人の投票結果を都市別に集計して選定され、「夜景サミット2015in神戸」(夜景観光コンベンションビューロー主催)にて発表されたもの。

参考資料:「札幌市統計書平成26年版」第1章土地及び気象(札幌市、2014年)
「札幌の地下構造」パンフレット(札幌市、2009年)

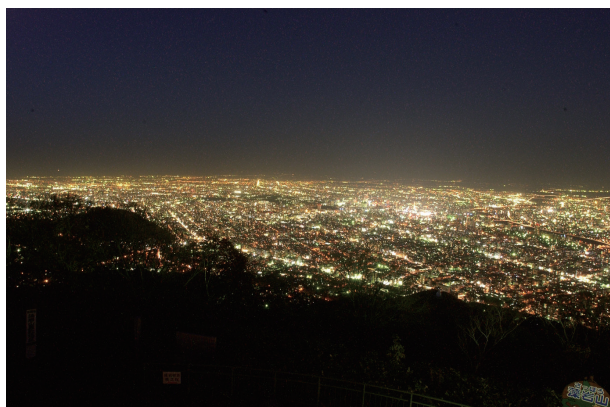


写真. 藻岩山山頂からの夜景(写真:札幌市)



図.札幌の地形(横から見た概念図)

👁️ 展望が良い場所

(作図:札幌市博物館活動センター)

博物館に聞いてみよう！

「こんなこと、博物館に聞いていいのかな？」と思っている方も多いかもしれませんが、これまでに様々な質問をいただいています。その一部をご紹介します。
移転後も、博物館活動センターをお気軽にご利用ください。

アンモナイトが落ちていたんですが…

なぜか時々このような質問があります。場所は校庭の真ん中、空き地など。おそらく誰かが別の場所で採取した化石を捨てたのでしょう。
※札幌市内の地層からはアンモナイト化石は見つかっていません。

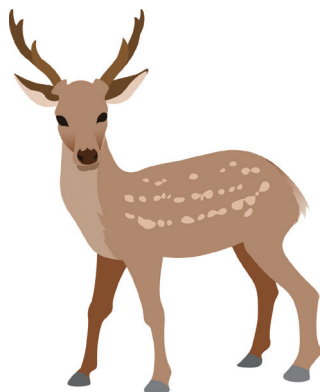


インコにあげる生の草はなにがいいでしょう？安く育てやすい植物を教えてください。

学芸員もペットや園芸植物の育て方までは詳しくわかりません。まずはペットショップや平岡樹芸センター、百合が原緑のセンターなどに聞いてみましょう。

旅行先で拾ったエゾシカの頭骨を引き取ってくれますか？

現場では「すごい！」と興奮したものの、いざ持ち帰る時には冷めていて…というケース。お問い合わせは嬉しいのですが、札幌市としてはできるだけよい状態の標本を残していかねばなりません。まずは標本の情報（採集地、採集年月日、採集者）がはっきりしているかをお聞きし、状態を確認してから受け入れを検討することになります。



ベランダのプランターにいつのまにか生えてきた植物の名前が知りたい。

植物は「名前を知りたい」、「どの図鑑を見たらいいかわからない」という質問が多いです。博物館活動センター図書コーナーには小学生から使える図鑑もありますので、お気軽にご相談ください。

これは化石ですか？化石の名前を教えてください。

子供から大人まで、一番多い質問ですが、「残念ながら化石ではありません」とお伝えすることも多いです。それだけ聞いて残念そうに帰っていく人も…。でも、こうした質問があるからこそ、南区でのサッポロカイギュウ化石やクジラ化石の発見がありました。



母が使っていた足踏みミシンを引き取ってくれますか？

当センターでは自然についての資料を集めています。昔の道具類・書物については、他の博物館などをご紹介します。

引っ越し準備を手助けいただき、ありがとうございました!

以前からお付き合いのあった西岡公園植物調査会のみなさん。博物館活動センターが引っ越すと聞いて、標本整理の手伝いに駆けつけてくださいました。

植物標本(押し葉)は薄くてパリパリに乾燥して壊れやすいため、引越時の移動のダメージをやわらげるため、台紙に固定していただきました(写真)。



行事ミニレポート★

さよならリンケージプラザ特別企画

科学絵本読み聞かせ×学芸員の井戸端サイエンス

×ハンドベル演奏

【共催】札幌市博物館活動センター、読み聞かせ・朗読ユニット月et兎

【演奏協力】ふるさとを歌う会in札幌 森の時間 ミュージックベルサークル

クリスマスといえばモミの木、ということでテーマは「針葉樹の森と生き物たち」でした。トドマツとエゾマツの話をしたところ、「サップロファクトリーのジャンボツリーもトドマツなんだよ!」と教えてくれた子もいました。読み手の発案で、ハンドベルの演奏のご協力もあり、クリスマス気分を盛り上げました。(2015年12月19日開催)



ホット
コラム

展示室につき

大きくなったらインドに行かなきゃ!

「不思議よねー」、「おもしろいよねー」が口癖の5歳のりんちゃん。「研究したい事がいっぱいあるの。いろんな事を調べたら科学者になれるかもしれないんだよ!」と話し、展示室でアンモナイトや古生代の生き物の絵を描いたり、時には宇宙探査機について教えてくれたりします。

そんなりんちゃんが、ある日、インドにある世界遺産の建造物タージ・マハルが大理石でできている事を知りました。大理石やその原材料である石灰岩にはよくアンモナイトなどの化石が含まれている事を知っていたりんちゃんは、すぐに「タージ・マハルの壁にはアンモナイトは入っているの?」という疑問が湧きました。そこで、お母さんと一緒にインターネットなどで調べましたが化石の情報は見当たらなかったそうです。展示室でそれを聞いた私は、まだ幼いらんちゃんからそんな質問をされるとは思いも寄らず、びっくりしました。

よし!古沢学芸員に聞いてみよう!古沢学芸員もりんちゃんの鋭い質問に驚きながらも、実際にタージ・マハルに行った時の事を話してくれました。でも、アンモナイトの存在を意識して見なかったのだからわからなかったそう。そして、古沢学芸員から「化石が入っている可能性もあるから、実際に行ってみるといいよ!」と言われ、お母さんにも「大きくなったらインドに行かなきゃね!」と言われたりんちゃんはスキップしてしまうほどウキウキしていたのでした。(文・イラスト:松橋)



移転先の紹介

4月から豊平区平岸に移転します。

- ・移転先では、平成28年4月1日(予定)に利用を再開します。今後よろしくお願いいたします。
- ・移転作業のため、平成28年3月31日まで一般のご利用を休ませていただいております。
- ・移転先住所、連絡先、交通案内は下記をご覧ください。



この看板が目印!

収蔵展示室の主役は、世界最古の大型海牛化石(南区小金湯産)のサッポロカイギュウ骨格復元標本。
 さわって観察できる昆虫や花の標本や、市民に寄贈いただいたアンモナイト化石がいつ来ても見られます。
 座ってゆっくり調べものができる図書コーナーもあります。



札幌市博物館活動センターご案内 平成28年4月～

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/museum/>

【開館時間】10時～17時 【入館料】無料 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

【住所】〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条15丁目1-6 ※平成28年4月～

【電話】011-374-5002 【FAX】011-374-5014 ※平成28年4月～

【E-mail】museum@city.sapporo.jp

■公共交通機関をご利用ください。

地下鉄南北線「澄川駅」から徒歩約10分、または「南平岸駅」東出口から徒歩約15分。

■障がい者用駐車場のご利用および団体見学等で貸し切りバス等でお越しの場合は、お手数ですが事前にご連絡ください。



編集後記

札幌の市街地、特に中心部では残念ながらたくさんの星は見られません。月明かり、雪明り、というのも実感できないかもしれません。でも、空気が澄むこの季節、札幌のもう一つの“夜景”ともいえる星や月、雪明かりを探してみるのもいいかもしれません。(や)

大 累計来館者数 **100,481**人
(2015年12月末現在)



さっぽろ市 02-J02-15-1033 27-2-689
 VEGETABLE OIL INK ミューズレターは、再生紙および植物油インキを使用しています。